

## 普及活動情勢報告（平成29年9月分）

高吾農業改良普及所

### さんさん市の野菜栽培講習会が始まりました



8月22日、日高村の直販所「村の駅ひだかさんさん市」の出荷部会が第1回野菜栽培講習会を実施しました。講習会はさんさん市への出荷者確保を目的とし、ベテラン農家が講師となって受講者を指導します。

普及所は作物の性質や栽培方法について説明しました。受講者2名は講師の指導でセルトレイに3種類の野菜の種を播きました。トレイは受講生が持ち帰り、担当講師の見守りを受けながら育苗します。

講習会は全5回を予定し、普及所は今後も栽培に関する情報を提供していきます。

### (株)イチネン農園でミニトマトの植え付けが行われました！



日高村の(株)イチネン農園は、高知県に企業参入し今作からミニトマトを栽培します。今年度、来年度と新しく高軒高施設を建設し、9月14日には今年建設した50aの施設で第1弾となるミニトマトの植え付けが行われました。

これまで普及所では、苗の発注や資材の確保、調整などの支援を行ってきました。今後も栽培管理や作業、養液分析など助言や支援を行っています。

### シュガートマトが定植されました！



J Aコスモスの高糖度トマト「シュガートマト」の定植が、8月中旬から9月上旬にかけて約3週間にわたって行われました。シュガートマトは日高村・佐川町の20戸の栽培農家が約6.8haの面積で栽培しています。今作は新規就農者や栽培面積拡大、品目転換により約80aの面積増の予定です。

普及所は苗の活着促進のため定植直後から現地巡回を行い、生育初期の栽培状況の確認と指導を行いました。今後も、収量アップに向け定期的に現地巡回と栽培管理指導を行います。

### 第2回集落営農塾（法人経営コース）を開催しました



9月5日、普及所は日高村の集落営農組織「農事組合法人沖名営農組合」を対象に第2回集落営農塾を開催し、生産者8名が参加しました。

先月開催した「集落営農ビジョンと事業戦略等の作成」の講義を受け、営農塾では感想を話し合い意見を共有しました。そして今後の取り組み内容について検討した結果、園芸作物の実証ほ設置と県内の集落営農法人の視察研修が決まりました。

普及所は、地域の農地を守る取り組みを進め、今後も集落営農組織等の活動を支援していきます。

## 今年も順調！イチゴ定植準備が進む



当普及所管内では佐川町を中心に促成イチゴが栽培されています。最も多い品種はJ Aコスモス佐川いちご部会の「ゆめのか」で、「さちのか」「紅ほっぺ」も栽培されています。

普及所はJ Aコスモスと手分けして、イチゴの定植に向けて花芽の分化状況を確認しています。今年は順調に分化が進んでおり、例年どおり9月中旬頃の定植見込みで、12月には出荷が始まる予定です。

普及所ではこれから本格化するイチゴ栽培に向け、病害虫の適期防除や品質向上を目指して支援していきます。

## J Aコスモス雨よけピーマン部会、天敵利用に向け視察研修を開催



佐川町の雨よけピーマンでは天敵導入が始まっています。9月11日、J Aコスモス雨よけピーマン部会が天敵利用に成功している他産地を視察しました。

参加した2戸の農家は「こんなにうまくいくのか」と驚き、土着天敵の入手方法や温存植物の栽培開始時期といった天敵利用技術だけでなく、誘引方法や灌水、追肥のタイミングなどの栽培管理についても多く質問していました。

普及所は天敵導入手順をとりまとめ、雨よけピーマンでの天敵利用技術の定着を支援していきます。